



TOP MESSAGE

新年度スタート！ GM通信

月日が経つのは本当に早いもので、バディグローバルスクール開校から1年が過ぎました。フィロソフィー、カリキュラムについては自信がありましたが、何しろ1年目ですからそれこそ手探りの中でのスタートという側面はありました。ただ授業が始まってみると毎日目にする子供たちの笑顔と彼らの積極的な取り組みのおかげで多くの心配が杞憂に終わっていったことを覚えています。

現在グローバルスクールに通う子供たちが社会に出るころにどのような日本になっているのか。世界の情勢はどうなっているのか。資本主義という概念は存在しているのか。国という概念はどのような意味を持っているのか。想像もできません。

私が社会に出たころは、それこそ情報は新聞やテレビ、ラジオから得ていましたし、それらのメディアが発信する内容にほとんど疑問を持つことはなかったと記憶しています。その情報に間違っていることが含まれていたとしても私たちが進む方向にさほど影響はなかったのです。当時は今よりもずっと個人よりも組織に注目が集まる時代でした。ですから周りの人たち、特に同じ学校に通う友人たちと同じような行動を取っていれば大きな心配のない時代でした。特段際立った才能を自覚できない人間にとっては、いわゆるいい学校に行っていっていい企業に就職して定年まで勤めあげることがあたりまえの時代でしたし多くの人がそれを目指しました。ですからモノサシとして偏差値を利用することが便利だったのです。

今の時代はそうはいきません。価値観が多様化し、組織よりも個人に注目が集まり、何より情報の量が私の育ってきたころと圧倒的に違います。さらに簡単に情報にアクセスすることができる時代なのです。ですから今後ますますこの傾向が顕著になっていくことは容易に想像できます。

このような時代に横並びの教育、あるレンジの中に入ることを目的とした教育は意味を成しません。自分は周りの人たちと同じだとか、同じことができていたりとか、友人たちと比べてテストの成績がいいとか、そのような認識は何のリスクヘッジにもなりませんし、将来の展望が開ける材料にもなりません。

情報があふれ、価値観が多様化する中で大切なことは「目的が何かを忘れないこと」と「物事を客観的に観ること」です。

「目的が何かを忘れないこと」とは言い換えると何が手段で何が目的かを正しく認識することです。かつて国連難民高等弁務官だった緒方貞子さんが着任してすぐに前例に固執し新たなチャレンジができなくなっていた職員たちとの議論に辟易して「ルールを守ることが仕事ではない。難民の命を守ることが私たちの仕事だ」と言い放ったことがあったそうです。言うまでもなく、ルールを守ることが手段であり難民の命を守ることが目的です。もちろんルールを守ることでも大切です。子供たちを教育する過程でルールを守ることの重要性について学んでもらうことは必要不可欠です。しかし、そこで止まって欲しくないのです。そのルールは現状に合っているのか、もはや古臭くなってしまった概念に縛られていないのかとか、そもそもそのルールをつくった目的は何だったのかとか、そこまで考える力をつけてほしいし、そのように考える習慣を身に着けてほしいのです。

目的を忘れないためには目的自体が純粋であることも大切です。先日サッカー日本代表が来年のワールドカップ出場を決めました。（しかも世界最速で！）そもそも1980年代後半にサッカーのプロ化を実現しようと当時の日本サッカー協会が決めたのは純粋にプロ化しなければ強くなれないとの結論に達したからです。強くなること、その一点でJリーグをつくったのです。（私がサッカーの仕事をしたと思ったのはこの動機の純粋さに惹かれたからです。）その結果として今の日本代表があるのです。森保監督や選手たちがワールドカップで優勝を目指すと言ってくれるというのはフットボールに携わってきた者として本当に嬉しいことです。

目的の純粋さという意味では、野球の大谷翔平選手と将棋の藤井聡太さんにも共通点があります。彼らは今後の目標を聞かれると多くの場面で上手になりたい、強くなりたいと言うのです。大谷選手は上手くなるために二刀流をやり続けているということになります。誰に何を言われようと、リスクがあると言われようと彼にとってはもっと野球が上手くなるためにはどうしても両方やらなければならないのでしょう。藤井さんもこんな記録をつくりたいとか何冠取りたいとか言っているのを聞いたことがありません。とにかく二人とも上手になりたいし強くなりたいだけなんですね。だからブレることがないのだと思います。

先日、あるグローバルスクール生と話をする機会がありました。彼はサッカー、陸上、体操、バスケットボールを高いレベルでこなす優秀なアスリートの卵です。学業のレベルも高い児童です。その彼に「将来何になりたいの?」と聞いてみました。すると「石の研究者になりたい。」と言ったのです。意外な返答に驚きました。「なぜ?」と聞くと「石はきれいだから。」と。すごくシンプルで純粋な理由ですよね。いいなと率直に思いました。感動すら覚えました。これから先、彼の目標は変化していくでしょう。心身の成長が進めばあたりまえのことです。ですが、「石の研究者になりたい。」と思った時のことを忘れてほしくありません。今後どのような方向に進むにしても。

バディグローバルスクールに通う全ての子供たちに純粋な、誰にも邪魔をされない目標を持つて欲しいと願っています。それが月日とともに変容していったとしても動機の純粋さを忘れて欲しくありません。そんなことを考えながら子供たちと接しています。

「物事を客観的にみること」については次回以降に書きたいと思います。

SCHEDULE

【世田谷校】4月の主な予定

- 4月3日(木) 始業式
- 4月7日(月) 金融
- 4月14日(月) 農業
- 4月21日(月) 金融

【有明校】4月の主な予定

- 4月3日(木) 始業式
- 4月14日(月) 金融
- 4月21日(月) 農業
- 4月28日(月) 金融

